

2021年7月27日

各 位

広島市安佐南区祇園3丁目28番14号
株式会社アスカネット
代表取締役社長 松尾 雄司

第26回定時株主総会および懇談会の質疑応答要旨について

2021年7月27日に開催いたしました第26回定時株主総会および懇談会の質疑応答要旨をお知らせいたします。株主総会及びその後の懇談会を合わせまして、以下のとおり、6名の株主様から12件のご質問・ご提言をいただき、役員一同が回答いたしました。

(質問要旨) 保有する自己株式を今後どういう方針で処分していくのか、現金預金についてもあまり残高に動きがないようですが、今後どのように活用していくのでしょうか。

(回答要旨) 当面は取締役に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式を付与してまいります。その他、選択肢としてはM&A等に活用する可能性はありますが、特に現時点では定まっている案件はありません。手元の現金預金の活用につきましては、例えば空中ディスプレイ事業やその他事業での設備投資及び将来の事業展開に備えて現金預金を保有しております。

(質問要旨) 配当性向30%という方針は、いつどのような経緯で決まったのでしょうか。

(回答要旨) いつごろというのは手元の資料がないため明確な回答は出来ませんが、上場来、企業成長と配当のバランスを考えた上で、配当性向30%が適切であろうということで方針を定めております。

(質問要旨) 空中ディスプレイ事業の詳細などいろいろ聞きたいことがあるので、個人投資家向け説明会を開催してはいただけないでしょうか。

(回答要旨) 個人投資家向け説明会の開催について現時点で具体的な予定はしておりません。このコロナ禍の環境の中で開催が難しいこともございますが、一方でネットなどを活用した方法もあると承知しております。ご意向を承りましたので今後の検討課題とさせていただければと思います。

(質問要旨) 空中ディスプレイ事業で他のメーカーへの技術提供や競合となる企業はあるのでしょうか。

(回答要旨) 空中結像方式は違いますが、似たような技術を持っている企業は国内、海外に数社ございます。ただ、空中結像の方式が違って、当社の方式は最も明るくて綺麗だと自負しており、今後はこの優位性を活かして当社の技術が採用されるだろうと思っていますので、ご期待いただければと思います。

(質問要旨) 空中結像技術は身近だとどこで見ることが出来ますか。

(回答要旨) 広島ですと、ひろぎんホールディングス様の新しい本社ビル内の ATM コーナーで実証実験をいただいているのと、1m 角のプレートを活用したサイネージが 3 面ありますので、ぜひご覧いただければと思います。

(質問要旨) 空中ディスプレイ事業で一番興味があるのはいつ形として販売できるのか、販売になったら IR として発表する予定はあるのか、新しく樹脂製の 25cm 角のプレートを販売しているが、1 枚当たりいくらで販売しているのか。

(回答要旨) 樹脂製プレートをを使った組み込み案件は時間がかかるものでして、プレート活用を検討される会社様が様々な技術・製品化研究をされています。いつ販売に至るかを当社が具体的に申し上げることは出来ませんし、製品として組み込んでいくためには、環境試験など様々な段階があり、我々が勝手にリリースをすることが難しい状況です。25cm 角プレートの価格につきましては、組み込み検討いただいている会社様への影響もありますので、回答をご容赦いただければと思います。

(質問要旨) フューネラル事業での tsunagoo がかなり引き合いが多く、契約も出来ていると聞いているが、将来的にどれぐらいの売り上げを見込んでいるのか、その見通しをお聞かせください。

(回答要旨) 現在全国で 6,000~7,000 くらいの葬儀社があり、それら葬儀社が運営する会館のうち 2,500 ヶ所に契約を頂いており、全体の半分くらいの導入を目論んでおります。このサービスは月額料金だけではなく、弔電などさまざまなサービスを活用いただければ、その分収益に繋がるサービスです。tsunagoo がもっと認知され、活用が広がれば、収益の核となる可能性があると考えております。高い目標をもって進めております。

(質問要旨) 創業者の方が株を売却して、それも一因だと思いますが、株価が低迷しております。株の売却に関して会社の方から、株価の値下がりを防ぐために立会外分売のような方策を提案しているのでしょうか。

(回答要旨) 株売却の意向については、会社も把握しておりますが、売却の方法について会社の方から具体的な提案をすることはしておりません。先日の売却について、大量保有報告書を拝見しますと、市場外での売却となっていますので、株価への影響を配慮したスキームで売却されているものと推察しています。

(質問要旨) 今後について何か対策を取られる予定はありますか。

(回答要旨) 当然会社としては一定数以上保有していただきたいという意向は持っておりますが、一方個人資産でもありますので、過度な制約は出来ません。会社としての意向を伝えるコミュニケーションは継続してまいりたいと思っております。

(質問要旨) 今後売却があれば、どういう理由でどういう方法で売却したかを会社側から IR として報告していただきたいと思いますがいかがでしょうか。

(回答要旨) 貴重なご意見ありがとうございます。そのあたりを担保するために大量保有報告書制度があると思いますので、その制度との兼ね合いを考慮して情報提供の必要性を検討したいと思います。

(質問要旨) 2014年か2015年頃の株主総会で、東証一部への市場変更を行わない旨と M&A や他社との事業提携を行わない旨の発言があったと記憶していますが、そのあたりの方針に変更はあるのかどうかを教えてください。

(回答要旨) 今後我々が成長していくためには、当社の技術と外部の新しい技術を融合させて、新しい事業を展開していく必要があると思っています。また、既存事業につきましても、自分たちでやるだけでなく、他社に良い技術があれば取り入れながら、新商品、新サービスを開発して成長していきたいと思っています。市場変更につきましても、できる限り上を目指していきたいと思っています。そうすることで、株主様に喜んでいただくことになるのではないかと思います。

(質問要旨) これからどんどん成長していく会社に配当性向 30%は若干高すぎると思います。もっと成長にお金を使っただけないでしょうか。ずっと空中ディスプレイ事業をみて、あまり投資されていないなと見ております。事業成長を加速化するためにもっとお金を使っただければと思います。

(回答要旨) 貴重なご意見ありがとうございます。

以 上